



2024年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2023年11月13日

上場会社名 株式会社 昭和真空

上場取引所 東

コード番号 6384 URL <http://www.showashinku.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役執行役員社長 (氏名) 小俣 邦正

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員管理本部長 (氏名) 田中 彰一

TEL 042-764-0392

四半期報告書提出予定日 2023年11月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第2四半期の連結業績(2023年4月1日～2023年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	3,262	42.3	6	99.1	35	95.6	14	97.4
2023年3月期第2四半期	5,649	4.1	798	13.1	822	16.0	576	13.3

(注) 包括利益 2024年3月期第2四半期 70百万円 (90.0%) 2023年3月期第2四半期 710百万円 (13.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	2.42	
2023年3月期第2四半期	93.59	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期第2四半期	14,460	11,154	77.1	1,810.86
2023年3月期	15,467	11,519	74.5	1,870.14

(参考) 自己資本 2024年3月期第2四半期 11,154百万円 2023年3月期 11,519百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期		0.00		70.00	70.00
2024年3月期		0.00			
2024年3月期(予想)				70.00	70.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,358	17.5	146	85.7	169	84.3	90	88.5	14.61

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期2Q	6,499,000 株	2023年3月期	6,499,000 株
期末自己株式数	2024年3月期2Q	339,049 株	2023年3月期	339,449 株
期中平均株式数(四半期累計)	2024年3月期2Q	6,159,668 株	2023年3月期2Q	6,158,634 株

2024年3月期2Qの期末自己株式数には、「従業員株式給付信託(J-ESOP)」の信託財産とし(株)日本カストディ銀行(信託E口)が保有する当社株式68,400株が含まれております。また、(株)日本カストディ銀行(信託E口)が保有する当社株式を、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております。

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件等については、添付資料4ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(追加情報)	10
(セグメント情報等)	11
(収益認識関係)	12
3. 補足説明	13
(1) 生産、受注及び販売の状況	13

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(2023年4月1日～2023年9月30日)における世界経済は、ロシアによるウクライナ侵攻の長期化により不安定な国際情勢が継続する中、欧米や中国経済の減速懸念、世界的なインフレ、各国の政策金利引き上げの影響などにより、依然として予断を許さない状況となっております。

わが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響による行動制限が緩和され、経済活動が正常化する中、各種政策効果などにより緩やかな回復が続きましたが、原材料価格やエネルギー価格の高止まりや、中国経済の減速懸念、世界的な金融引き締めなどを背景とした海外景気の下振れがわが国の景気を下押しするリスクなど、先行きは依然として不透明な状況が継続しております。

当社グループを取り巻く経営環境を見ると、スマートフォンなどの最終製品製造メーカの部品在庫調整は進んでいるものの、景況感悪化による最終製品需要回復の遅れなどにより、主要取引先電子部品メーカの生産は低調に推移し、設備投資に対する姿勢は想定以上に慎重な状態が継続しました。

こうした環境の中、当社グループは、主要取引先電子部品メーカの次世代製品開発や省人化・自動化などによる生産性向上ニーズに対応するとともに、新規先電子部品メーカへの営業を強化し、顧客からの依頼実験やサンプル成膜依頼に迅速、かつ積極的に取り組みました。

生産面では、期初受注残及び受注予定案件を見据えた生産体制を整えるなど効率的な生産に努めましたが、顧客事情による納品スケジュールの後倒しや大幅仕様変更による受注額減額が発生し、売上高に影響しました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、受注高は21億29百万円(前年同四半期比51.5%減)、売上高は32億62百万円(同42.3%減)となりました。受注高については、受注済水晶デバイス装置及び光学装置の顧客要請に基づく大幅仕様変更による4億52百万円の受注額減額がありました。

損益につきましては、経常利益35百万円(前年同四半期比95.6%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益14百万円(同97.4%減)となりました。

セグメント別の状況は次のとおりであります。

①真空技術応用装置事業

真空技術応用装置事業の受注高は8億76百万円(前年同四半期比71.3%減)、売上高は20億9百万円(同53.4%減)、セグメント利益は1億36百万円(同85.6%減)となりました。

業界別の状況は以下のとおりです。

(水晶デバイス装置)

水晶デバイス業界では、世界のスマートフォン出荷台数減少によりデバイスメーカの設備稼働率は低調に推移したため、増産設備投資発注には至らず、次世代製品向けや既存生産ラインの更新投資についても先送り姿勢が強まりました。売上高に関しては、顧客事情などによる納品スケジュールの後倒しや大幅仕様変更による受注額減額案件の発生が影響を及ぼしました。

水晶デバイス装置の受注高はマイナス2億56百万円(前年同四半期は4億74百万円)、売上高は11億34百万円(前年同四半期比27.9%減)となりました。受注高については、受注済装置の顧客要請に基づく大幅仕様変更による3億63百万円の受注額減額がありました。

(光学装置)

光学業界では、スマートフォンをはじめとした最終製品需要の回復が遅れていることなどを受け、デバイスメーカーの設備投資姿勢は低調に推移しました。売上高に関しては、顧客事情による納品スケジュールの後倒しや大幅仕様変更による受注額減額案件の発生が影響を及ぼしました。

光学装置の受注高はマイナス69百万円（前年同四半期は12億14百万円）、売上高は3億16百万円（前年同四半期比87.0%減）となりました。受注高については、受注装置の顧客要請に基づく大幅仕様変更による89百万円の受注額減額がありました。

(電子部品装置・その他装置)

電子部品業界では、新規市場の開拓を継続的に行うとともに、顧客との共同開発やサンプル成膜依頼に積極的に取り組むことを通じて受注獲得に努めましたが、引合い案件の一部の受注時期が第3四半期以降に後倒しとなりました。売上高に関しては、顧客事情による納品スケジュールの後倒し案件の発生が影響を及ぼしました。

電子部品装置・その他装置の受注高は12億2百万円（前年同四半期比11.7%減）、売上高は5億57百万円（同88.1%増）となりました。

②サービス事業

サービス事業につきましては、ユーザーに対する定期的な稼働状況確認による潜在ニーズの掘り起こし及び生産性向上提案による装置の改造・修理や消耗品の販売に努めましたが、顧客工場の稼働率低下などにより消耗品の販売が低調に推移しました。一方で、光学デバイスメーカーの生産性向上ニーズに係る大口改造工事の売上がありました。

サービス事業の売上高は12億53百万円（前年同四半期比6.6%減）、セグメント利益は3億71百万円（同10.7%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は106億81百万円となり、前連結会計年度末に比べ8億95百万円減少しました。これは主に現金及び預金が1億85百万円増加したものの、売掛金が8億17百万円、仕掛品が2億8百万円、その他流動資産が1億20百万円減少したことによるものです。固定資産は37億79百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億12百万円減少しました。これは主に機械装置及び運搬具が61百万円減少したことによるものです。

この結果、総資産は144億60百万円となり、前連結会計年度末に比べ10億7百万円減少しました。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は22億69百万円となり、前連結会計年度末に比べ6億64百万円減少しました。これは主に電子記録債務が4億15百万円、支払手形及び買掛金が1億58百万円、未払費用が1億14百万円減少したことによるものです。固定負債は10億36百万円となり、前連結会計年度末に比べ21百万円増加しました。これは主に退職給付に係る負債が18百万円増加したことによるものです。

この結果、負債合計は33億5百万円となり、前連結会計年度末に比べ6億43百万円減少しました。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は111億54百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億64百万円減少しました。これは主に利益剰余金が4億21百万円減少したことによるものです。

純資産の減少以上に負債が減少した結果、自己資本比率は77.1%（前連結会計年度末は74.5%）となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末と比較して1億80百万円増加し、49億28百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動による資金獲得は6億31百万円(前年同四半期比31.4%減)となりました。これは主に、仕入債務の減少5億70百万円などの支出はあったものの、売上債権の減少7億72百万円、棚卸資産の減少1億95百万円、減価償却費1億45百万円、未収消費税等の減少1億7百万円などの獲得があったことによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動による資金支出は77百万円(前年同四半期比6.7%増)となりました。これは主に、有形固定資産の取得73百万円などの支出があったことによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動による資金支出は4億37百万円(前年同期比16.0%減)となりました。これは主に、配当金の支払額4億34百万円などの支出があったことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期の連結業績予想につきましては、現時点では、2023年8月8日付「業績予想の修正に関するお知らせ」にて公表いたしました業績予想に変更はありません。

当社グループを取り巻く市場動向を注視し、連結業績予想数値に見直しが必要と判断した場合には、速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,805,249	4,990,956
受取手形	716,225	765,806
売掛金	2,617,847	1,800,821
商品及び製品	2,009	2,022
仕掛品	2,742,100	2,533,505
原材料及び貯蔵品	505,374	521,259
その他	189,670	69,509
貸倒引当金	△1,562	△2,598
流動資産合計	11,576,914	10,681,281
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,018,517	980,390
機械装置及び運搬具(純額)	201,194	139,915
土地	1,970,562	1,970,562
建設仮勘定	10,704	894
その他(純額)	144,263	132,520
有形固定資産合計	3,345,242	3,224,283
無形固定資産		
リース資産	4,308	3,661
その他	37,941	39,452
無形固定資産合計	42,249	43,114
投資その他の資産		
投資有価証券	225,864	220,584
繰延税金資産	202,503	213,975
退職給付に係る資産	49,919	48,752
その他	25,562	28,595
貸倒引当金	△279	△279
投資その他の資産合計	503,571	511,628
固定資産合計	3,891,063	3,779,026
資産合計	15,467,977	14,460,308

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	846,705	688,252
電子記録債務	1,226,567	810,851
短期借入金	49,908	49,908
リース債務	8,179	9,712
未払費用	273,039	158,452
未払法人税等	43,424	48,496
前受金	113,123	187,736
賞与引当金	156,005	141,624
役員賞与引当金	79,000	-
製品保証引当金	50,000	65,000
工事損失引当金	22,900	200
その他	65,152	108,953
流動負債合計	2,934,005	2,269,186
固定負債		
社債	450,000	450,000
長期借入金	100,000	100,000
リース債務	9,891	14,256
退職給付に係る負債	328,724	346,903
株式給付引当金	50,953	50,029
長期未払金	75,170	75,143
固定負債合計	1,014,740	1,036,333
負債合計	3,948,745	3,305,520
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,177,105	2,177,105
資本剰余金	2,793,805	2,793,805
利益剰余金	6,496,826	6,075,767
自己株式	△316,897	△316,343
株主資本合計	11,150,838	10,730,334
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	116,521	112,855
為替換算調整勘定	251,703	311,284
退職給付に係る調整累計額	168	312
その他の包括利益累計額合計	368,392	424,452
純資産合計	11,519,231	11,154,787
負債純資産合計	15,467,977	14,460,308

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年9月30日)
売上高	5,649,999	3,262,232
売上原価	3,833,712	2,375,214
売上総利益	1,816,287	887,018
販売費及び一般管理費	1,017,518	880,080
営業利益	798,769	6,938
営業外収益		
受取利息	3,866	4,714
受取配当金	3,838	3,225
受取賃貸料	1,203	1,140
補助金収入	5,612	2,404
為替差益	10,059	18,375
その他	1,988	2,165
営業外収益合計	26,569	32,026
営業外費用		
支払利息	1,302	1,287
支払保証料	793	767
その他	620	958
営業外費用合計	2,715	3,014
経常利益	822,623	35,949
特別利益		
投資有価証券売却益	5,788	-
特別利益合計	5,788	-
特別損失		
固定資産除却損	-	9
特別損失合計	-	9
税金等調整前四半期純利益	828,412	35,940
法人税、住民税及び事業税	268,772	30,734
法人税等調整額	△16,752	△9,720
法人税等合計	252,020	21,014
四半期純利益	576,392	14,926
親会社株主に帰属する四半期純利益	576,392	14,926

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年9月30日)
四半期純利益	576,392	14,926
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△22,689	△3,665
為替換算調整勘定	156,782	59,581
退職給付に係る調整額	△103	143
その他の包括利益合計	133,989	56,059
四半期包括利益	710,382	70,985
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	710,382	70,985

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	828,412	35,940
減価償却費	126,269	145,355
貸倒引当金の増減額(△は減少)	-	945
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	19,142	19,554
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△57,000	△79,000
賞与引当金の増減額(△は減少)	△1,761	△14,381
製品保証引当金の増減額(△は減少)	3,000	15,000
工事損失引当金の増減額(△は減少)	27,800	△22,700
株式給付引当金の増減額(△は減少)	13,192	△924
受取利息及び受取配当金	△7,705	△7,940
支払利息	1,302	1,287
売上債権の増減額(△は増加)	1,880,166	772,693
棚卸資産の増減額(△は増加)	259,906	195,904
仕入債務の増減額(△は減少)	△1,131,722	△570,158
未払費用の増減額(△は減少)	△5,764	△60,333
未収消費税等の増減額(△は増加)	△53,264	107,770
未払消費税等の増減額(△は減少)	△1,438	38,450
前受金の増減額(△は減少)	△700,417	74,362
その他	4,388	△12,440
小計	1,204,507	639,385
利息及び配当金の受取額	7,704	7,945
利息の支払額	△1,297	△1,214
法人税等の支払額	△291,579	△15,008
営業活動によるキャッシュ・フロー	919,335	631,108
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△1,200	△1,200
有形固定資産の取得による支出	△94,076	△73,274
無形固定資産の取得による支出	-	△2,591
投資有価証券の売却による収入	12,633	-
投資活動によるキャッシュ・フロー	△82,643	△77,066
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△371,985	△434,096
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△5,446	△3,659
財務活動によるキャッシュ・フロー	△377,431	△437,756
現金及び現金同等物に係る換算差額	163,595	63,774
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	622,855	180,060
現金及び現金同等物の期首残高	5,012,172	4,748,205
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,635,027	4,928,266

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(従業員等に信託を通じて自社の株式を交付する取引)

当社は、2020年11月6日開催の取締役会決議に基づき、当社の株価や業績と従業員の処遇の連動性をより高め、経済的な効果を株主の皆様と共有することにより、株価及び業績向上への従業員の意欲や士気を高めるため、従業員に対して自社の株式を給付するインセンティブプラン「株式給付信託(J-ESOP)」制度(以下、「本制度」という。)を2020年11月24日より導入しております。

(1) 取引の概要

本制度は、予め当社が定めた株式給付規程に基づき、一定の要件を満たした当社の従業員に対し当社株式を給付する仕組みです。当社は、従業員に対し当社の業績等に応じてポイントを付与し、一定の条件により受給権を取得したときに当該付与ポイントに相当する当社株式等を給付します。従業員に対し給付する株式については、予め信託設定した金銭により将来分も含め取得し、信託財産として分別管理するものとしします。

(2) 信託に残存する自社の株式

信託に残存する当社株式を、信託における帳簿価額(付随費用の金額を除く。)により、純資産の部に自己株式として計上しております。当該自己株式の帳簿価額及び株式数は、前連結会計年度末は95,425千円、68,800株、当第2四半期連結会計期間末は94,870千円、68,400株です。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	真空技術応用装置事業	サービス事業	合計
売上高			
外部顧客への売上高	4,308,477	1,341,522	5,649,999
セグメント間の内部売上高 又は振替高	3,382	15,293	18,675
計	4,311,860	1,356,815	5,668,675
セグメント利益	942,808	415,939	1,358,747

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,358,747
セグメント間取引消去	14,677
全社費用(注)	△574,655
四半期連結損益計算書の営業利益	798,769

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	真空技術応用装置事業	サービス事業	合計
売上高			
外部顧客への売上高	2,009,011	1,253,221	3,262,232
セグメント間の内部売上高 又は振替高	3,145	1,726	4,872
計	2,012,157	1,254,948	3,267,105
セグメント利益	136,224	371,258	507,482

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	507,482
セグメント間取引消去	11,178
全社費用(注)	△511,723
四半期連結損益計算書の営業利益	6,938

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報

前第2四半期累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

(単位：千円)

	真空技術応用装置事業	サービス事業	合計
水晶デバイス	1,574,334	269,523	1,843,857
光学	2,437,560	624,757	3,062,318
電子部品	296,582	295,956	592,539
その他	—	151,284	151,284
顧客との契約から生じる収益	4,308,477	1,341,522	5,649,999
外部顧客への売上高	4,308,477	1,341,522	5,649,999

当第2四半期累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

(単位：千円)

	真空技術応用装置事業	サービス事業	合計
水晶デバイス	1,134,711	214,457	1,349,169
光学	316,364	609,947	926,311
電子部品	557,935	356,601	914,536
その他	—	72,215	72,215
顧客との契約から生じる収益	2,009,011	1,253,221	3,262,232
外部顧客への売上高	2,009,011	1,253,221	3,262,232

3. 補足説明

(1) 生産、受注及び販売の状況

①生産実績

当第2四半期連結累計期間の生産実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日) (千円)	前年同四半期比(%)
真空技術応用装置事業		
水晶デバイス装置	1,134,771	72.1
光学装置	316,364	13.0
電子部品装置	557,935	188.1
その他装置	—	—
真空技術応用装置事業計	2,009,011	46.6
サービス事業		
部品販売	456,009	78.3
修理・その他	797,480	104.7
サービス事業計	1,253,490	93.2
合計	3,262,501	57.7

(注) 上記の金額は販売価格によっております。

②受注実績

当第2四半期連結累計期間の受注状況をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)			
	受注高(千円)	前年同四半期比 (%)	受注残高(千円)	前年同四半期比 (%)
真空技術応用装置事業				
水晶デバイス装置	△256,568	△54.1	789,950	36.8
光学装置	△69,179	△5.7	1,142,944	82.0
電子部品装置	1,202,358	88.3	1,799,912	81.3
その他装置	—	—	—	—
真空技術応用装置事業計	876,610	28.7	3,732,806	64.8
サービス事業				
部品販売	455,740	78.6	—	—
修理・その他	797,480	104.7	—	—
サービス事業計	1,253,221	93.4	—	—
合計	2,129,831	48.5	3,732,806	64.8

③販売実績

当第2四半期連結累計期間の販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日) (千円)	前年同四半期比(%)
真空技術応用装置事業		
水晶デバイス装置	1,134,711	72.1
光学装置	316,364	13.0
電子部品装置	557,935	188.1
その他装置	—	—
真空技術応用装置事業計	2,009,011	46.6
サービス事業		
部品販売	455,740	78.6
修理・その他	797,480	104.7
サービス事業計	1,253,221	93.4
合計	3,262,232	57.7

(注) セグメント間の取引については相殺消去しております。